

佐賀県感染症発生動向調査速報

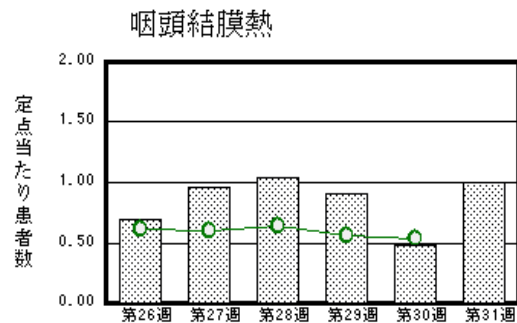
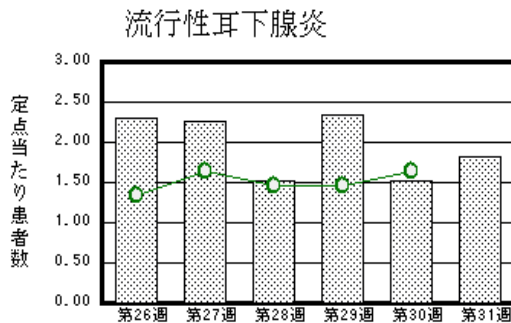
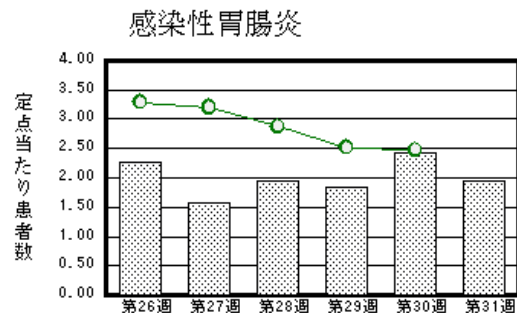
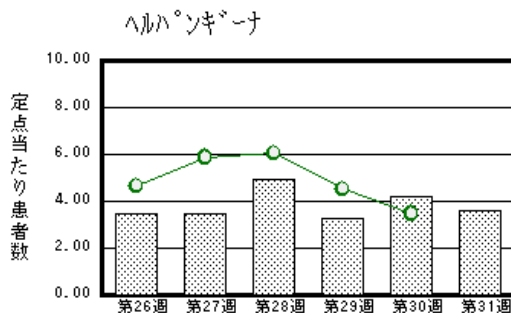
平成17年第31週 平成17年8月1日(月)～平成17年8月7日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 ヘルパンギーナ (82名) 感染性胃腸炎 (45名) 流行性耳下腺炎 (42名) 突発性発しん (35名) 咽頭結膜熱 (23名) 水痘 (23名)
- 【腸管出血性大腸菌感染症】杵藤保健所管内で2名(O157)の届出がありました。前年同時期と比較して多くなっています。手洗いや食品の温度管理、十分な加熱等一般的な食中毒予防に心がけましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp/o157/o157.html>



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2005年第29週号 (7月18日～7月24日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第29週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他、最新動向
・ 注目すべき感染症	< インフルエンザ > 第29週はやや減少したが、今後とも沖縄県、鹿児島県の流行については、注意深く観察していく必要がある < 腸管出血性大腸菌感染症 > 第29週の報告数は119例で前週より減少した
・ 病原体情報	A群コクサッキーウイルス6型2005年 / ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキーウイルス2005年 / 手足口病患者から検出されているウイルス2005年
・ 速報	2005年のエンテロウイルス分離状況 - 愛媛県
・ 海外感染症情報	インドネシアでの鳥インフルエンザの状況 / アンゴラでのマールブルグ病流行 / インドネシアでのポリオ流行 / ニジェールでのコレラ流行 / インドから帰国した旅行者が狂犬病で死亡 - 英国 / 中国四川省で高致死率の感染症が発生 / 米国でのウエストナイルウイルス活動状況
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)	
患者 (住所地)	2名(女児1名、30歳代男性1名) (杵藤保健所管内)	
無症状病原体保有者	0名	
感染原因・感染経路	不明	
平成17年届出累計	17件38名 (今週1件2名)	
平成16年	同 期	7件15名
	届出累計	22件48名

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 :五類感染症 (週報分)

平成17年第31週

平成17年8月1日 (月)~平成17年8月7日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第30週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								560 0.12
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								30
	咽頭結膜熱		7 2.33	4 1.00	12 4.00		23 1.00	11 0.48	1651 0.54
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	3 0.38	9 3.00	2 0.50		3 0.60	17 0.74	12 0.52	2084 0.68
	感染性胃腸炎	12 1.50	12 4.00	5 1.25	1 0.33	15 3.00	45 1.96	56 2.43	7506 2.47
	水痘	6 0.75	1 0.33	5 1.25	4 1.33	7 1.40	23 1.00	38 1.65	2912 0.96
	手足口病	3 0.38	5 1.67	5 1.25	2 0.67	2 0.40	17 0.74	19 0.83	4955 1.63
	伝染性紅斑	1 0.13	1 0.33	1 0.25	2 0.67		5 0.22	6 0.26	871 0.29
	突発性発しん	5 0.63	12 4.00	6 1.50	5 1.67	7 1.40	35 1.52	41 1.78	2349 0.77
	百日咳								29 0.01
	風しん							3 0.13	23 0.01
	ヘルパンギーナ	24 3.00	22 7.33	9 2.25	5 1.67	22 4.40	82 3.57	96 4.17	10531 3.46
	麻しん (成人 麻しんを除く)								35 0.01
流行性耳下腺炎	22 2.75	14 4.67	3 0.75	1 0.33	2 0.40	42 1.83	35 1.52	4992 1.64	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								15 0.02
	流行性角結膜炎	1 0.50					1 0.25		775 1.20
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								2 0.00
	無菌性髄膜炎								32 0.07
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00			1 0.17		107 0.23
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								3 0.01
	成人麻しん								1 0.00

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は29週分 (患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 五類感染症)

平成17年第31週 平成17年8月1日(月)~平成17年8月7日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満			1	1				2			1			6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満		1	3	1	3			19			11			12ヶ月未満								
1歳		1歳			1	10	4	4		14			21			1歳								
2歳		2歳		5	1	5	6	4					13		6	2歳								
3歳		3歳		5	2	5	8	1	1				12		2	3歳					1			
4歳		4歳		4	3	2		2	2				12		10	4歳								
5歳		5歳		4	4	3		3	2				4		10	5歳								
6歳		6歳		3	1								4		7	6歳								
7歳		7歳		1	1	3							3		1	7歳								
8歳		8歳			1	2	2						1		3	8歳								
9歳		9歳			2	2										9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳			1	5	1								2	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳													1	15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上				4										20歳~29歳		1						
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		23	17	45	23	17	5	35			82		42	合計		1			1			
前期計		前期計		11	12	56	38	19	6	41		3	96		35	前期計								
当期間/前	***	当期間/前	***	2.09	1.42	0.8	0.61	0.89	0.83	0.85	***		0.85	***	1.2	当期間/前	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数		12	5	-11	-15	-2	-1	-6		-3	-14		7	増減数		1			1			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

